

ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

結果報告

No. 88

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月6日(土)	試合記号	Ej	回戦	2回戦
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A(都道府県名)			B(都道府県名)		
岐阜県			兵庫県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
25	12	前半	7	19	
	13	後半	12		
		第1延長(前半)			
		第1延長(後半)			
		第2延長(前半)			
		第2延長(後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 鈴木 隆

2回戦、多くの声援を受け地元開催の岐阜県と若手主体の兵庫県の対戦は、兵庫県のスローオフでゲームが開始。兵庫県の6-0ディフェンスに対し立ち上がり早々、岐阜県3番小田が立て続けにポストプレーで連取し、好調に滑り出した。その後20分まで、個人技を生かし、岐阜県9番宮ノ腰、10番岡崎、6番柴田のフェイントからのカットインプレー等で得点を重ねた。一方、兵庫県はセットから8番竹下にボールを集めロングシュートを狙うが、岐阜県の高いディフェンスに阻まれ機能せず、7番岡村のサイドシュート、5番佐々木のカットインプレーで応戦するも10対3と点差を広げられる。兵庫県はディフェンスシフトを6-0から、5-1に切り換えると岐阜県は攻めあぐんだ。その間、兵庫県6番森脇が相手ミスからの速攻、2番松木のセットからのカットインと徐々に点差をつめ、12対7と岐阜県のリードで前半を終えた。

後半、兵庫県5番佐々木のカットインで先取したが、岐阜県10番岡崎、3番小田、6番柴田が立て続けに得点。兵庫県は岐阜県6番柴田、7番立野にマンツーマンディフェンスで岐阜県のミスを誘う。21分、兵庫県7番岡村、8番竹下の連続パスカットからの速攻、さらに8番竹下のロングシュートが決まりだした。一時、9点あった点差を6点までに縮めたが25対19で岐阜県が勝利した。